



思い出写真館

〈その 42〉

大和芋の種子切り【昭和42年ごろ】

亡き主人が昭和41年から記録していた大和芋の栽培日記が見つかりました。この写真と日記を眺めると、当時、千葉県では初めての和芋栽培を役場や農協、普及所の方々と熱心に研究していた様子が思い出されます。出沼と南玉造の有志20人程で、1人1畝(約100㎡)くらいから始まり、試験畑の種子植えに私も参加した覚えがあります。昭和46年度には50町歩(約500,000㎡)の目標で1億円の売り上げ見込みと計画したことなど、初代の農協園芸部長として頑張っていた主人は大変そうでした。

大和芋を出荷するときにはトラックに作付け者2人ずつが助手に出て、築地市場や横浜の市場に卸しに行き、私も夜中に帰宅した覚えがあります。あれから50年が過ぎて今では千葉県内1位、全国でも有数の生産地に発展していて、当時は大変でしたが、今思い返すと楽しかった思い出であり、この写真は我が家の宝物です。



山倉 三三さん
89歳(出沼)農家

※このコーナーでは皆さんの思い出の写真を募集しています。
連絡先：企画空港政策課広報係 ☎ 76-5409

「ねんきんサテライト成田」をご利用ください

年金請求の手続きや、受給している年金についての相談を希望される場合は、ぜひ「ねんきんサテライト成田(佐原年金事務所 成田分室)」をご利用ください。

【受付時間】

午前8時30分～午後5時15分
(土・日・祝日、年末年始を除く)

【場 所】

スカイタウン成田 2階
成田市花崎町 828-11 (JR 成田駅東口隣)

※専用駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

【業務内容】

○厚生年金保険・国民年金関係の届書などの受付・相談
○年金相談
年金相談は、混み合う場合がありますので事前予約をお願いします。予約の際は、基礎年金番号の分かるもの(年金手帳・年金証書など)を用意してください。

【予約受付専用番号】

☎ 0570-05-4890 (ナビダイヤル)

多古中央病院から

職場におけるメンタルヘルス(心の健康)への取り組み

文/多古中央病院 内科 宇都宮隆法

国の厚生労働省が中心となって進めている「働きやすい職場」づくりに関心が高まっています。多くの職場では、人手不足により一人ひとりが気持ちよく、十分に力を発揮できる環境を整えることが求められているからです。働いている人であれば、誰もが「働きやすい職場」づくりに関わることができます。



同じことばかり考えて夜も眠れない。メンタルヘルスに問題がありそうだ。



ワンポイント

認知症予防
手足の感覚は脳に伝わります。手仕事を行うことで脳の活性化につながることはよく知られていますが、足の感覚も手と同じくらい重要であることは見過ごされています。足元の床や地面の傾斜、凹凸を感じ取ったり、体重を微妙に前後させたりしてみてください。

【病院便り】
多古中央病院の受付時間は午前11時30分までとなっています。それ以降は、医師も検査や手術などに対応できないこともあるため、受診前に必ず確認の電話をお願いします。
☎ 76-2211

次浦区民会館が完成しました

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として地域の発展と住民福祉の向上を目的とした助成事業を行っています。今年、次浦区では宝くじの助成金「コミュニティ助成事業」を活用して、区民会館を整備しました。

10月20日、地元区長や区役員、区民の皆さん、来賓として所町長、戸村県議、近隣区長らも参加し次浦区民会館の落成式が行われました。以前の集会所施設の次浦青年館は建設から約50年が経過し、老朽化に加え手狭となっていたことから、新しい施設は旧久賀小学校用地に建てられました。この施設は、地元区民らが集会を行うのももちろんのこと、太陽光発電装置や蓄電装置を備えていることから、災害時には避難所としても機能することでしょう。これからの集会所の新たなモデルとなり得るものです。



また、来年4月に行われる統一地方選挙からは、新しい投票所としても利用される予定です。



コミュニティ助成事業の詳細はお問い合わせください。

お問合せ ● 産業経済課経済振興係 ☎ 76-5404